

人 チーム 制度

男性の育児休暇取得

東洋技研コンサルタント(株) 松下晟也さん

今回ご紹介するのは(株)東洋技研コンサルタントで橋梁設計の仕事に携わる松下晟也さん。2019年に奥様とご結婚され、現在、6カ月のお子さんを育てていらっしゃいます。

プロフィール

氏名 : 松下 晟也
 所属 : 技術第4部
 勤続年数 : 5年
 居住地 : 大阪府
 家族構成 : 夫/妻/長男(6カ月)
 勤務状況 : 育児休業中(週1出勤)

これまでの経歴を簡単に教えてください。

高専で土木工学を学び、東洋技研コンサルタント(株)にして5年間、橋梁設計に携わっています。

長男誕生後、すぐに育児休業を取得しています。育児休業給付金の制度を活用しており、育児休業期間は1年間の予定で、その間は週1回出勤としています。

なぜ育児休業を取得しようと思ったのですか？

正直、すごく悩みました。

入社5年ということで、私自身が業務の中心に入っていく中で、抜けてしまうのは、部のみなさんに迷惑がかかりますし、自分自身の会社での立場がどうなるか等、色々考えました。

私も妻も実家が遠いので、自宅で育てながら時々実家に頼る、ということは難しい状況でした。

里帰り出産という選択肢もありましたが、妻と私の二人で子供を育てたい、という思いが二人の中で強くあったので、私が育児休業を取得して、妻と二人で育てることにしました。



育児休業を取得する際に苦労はありましたか？

驚くほどありませんでした。妻と私の間で何度も話し合い、育児休業を取ろう！と決めてから、まず上司に相談をしましたが、二つ返事でOKを頂きました。業務の引継ぎ、会社での手続きはその後から考えよう、という感じで、育児休業取得そのものは、すぐに決まりました。当時、業務を持っていたため引継ぎはあったものの、前もって育児休業取得することは決まっていたので、スムーズに行えました。

育児休業をしてみてよかったことはありますか？

たくさんありますが、子育てと家事の分担が非常に大きいです。

生まれてすぐの赤ちゃん(わが子の場合)は、昼夜関係なく3時間ごとにミルクをあげて、1日10~15回くらいオムツを変えて、理由もわからず3時間ぶっとおしで全力で泣いていることもあります。それと同時に並行で家事・・・私と妻の二人で分担して”やっ”です。(これらを妻一人にまかせてしまうのは想像できない・・・)

子育てと家事の分担を妻と私で分担することができたので、子供に無駄なストレスを与えることなく家も綺麗に、良い環境で子育てはできていると思います。



half birthday!

最後に

男性が育児休業を取得するハードルが高いのは仕方がないと思います。

会社での立場・仕事に穴を空けてはいけない・キャリアに傷がつく・業務関係者に迷惑がかかる・・・等々。育児休暇を取得しないという理由は簡単にたくさん見つかります。また、大規模な業務で、業務の中心に従事している状況では、ますます難しいこともあると思います。

どうしても、育児休業と仕事を天秤にかけることになってしまうと思います。一番大事なのは子供が元気に育つことだと思います。そのためにパパとしてできることを考えたとき、私は、育児休業を取得する、という選択になりました。

仕事と家庭をこの先ずっと両立していくために、一時的に家庭に集中する時間を持つことは、将来のことを考えても、とても重要だと思います。

この投稿を読んで少しでも男性の育児休業取得率が上昇することを願います。